

令和 7 年度事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

一般社団法人自転車協会は、自転車活用推進法および同推進計画に基づき、「製品の安全性の確保」と「自転車の利用促進」という 2 つの柱を中心とした施策を講じ、広報活動を通じた安全啓発にも積極的に取り組んだ。

製品の安全性確保に向けては、「BAA マーク制度」の価値と信頼性向上を目的に、制度運用ルールの厳格化を進めるとともに、BAA マーク貼付自転車の安全性等を訴求する広報活動を展開した。その結果、BAA マークの貼付率は、国の「第 2 次自転車活用推進計画」で設定された目標を達成できる見込みとなった。

また、自転車の安全対策については、引き続き ITS（高度道路交通システム）の活用等、新たな技術視点からの事故防止策の検討を進めた。

自転車の利用促進に関しては、新規ユーザー層の獲得を目的に実用車からスポーツ車を対象とした都市型 BtoC イベント「東京ベイバイシクル」を有明（東京）の商業施設で開催する等、関連諸施策の強化を図った。

また、東日本大震災の復興支援イベント「CYCLE AID JAPAN」を開催する等、既存ユーザー層の強化を図った。

加えて、「第 2 次自転車活用推進計画」で推奨されている「SBAA PLUS 認定制度」や「自転車通学指導セミナー」等、自転車の安全利用に資する施策にも注力した。

道路交通法の改正への対応として、交通反則通告制度（青切符）の導入が自転車利用の阻害要因とならないよう、安全啓発と併せて自転車の利便性等を訴求する情報発信を行った。

自転車の国際会議「Velo-city 2027 Ehime」については、令和 9 年 5 月の開催に向けて開催地である愛媛県への協力を進めるとともに、自転車活用を推進する自治体との連携強化に向けた取り組みも実施した。

[1] 事業の概況

1. 安全対策事業

(1) BAA マーク制度への対応

- ① 「第 2 次自転車活用推進計画」において、製品安全性の観点から BAA マークが社会的ニーズとして推奨されていることを踏まえ、当会では BAA マーク付き自転車の一層の拡大を目指し、デジタルメディアを活用した WEB 広報を展開するとともに、BAA アドバイザーの拡大を進めた。加えて、安全啓発活動として、主には中学・高校の教職員を対象に「自転車通学指導セミナー」や個別の学校での「自転車安全教室」等を全国で実施した。

②BAA 商品検査

- ・ 84 台 (BAA マーク貼付自転車 74 台、非貼付自転車 10 台) の検査を実施した。
- ・ 令和 6 年度に不具合が多く発生した各部の固定については、令和 7 年 2 月に東京、3 月に大阪で講習会を開催。結果、大幅な改善が見られた。
- ・ 不具合への対応としては、事業者から改善報告書の提出及び国内検査機関において検査に合格した改善部品の検査成績書の提出を求めた。
- ・ 事業者全体の品質向上を目的に、商品検査で不具合が多い項目を中心に検査動画を作成し、自転車安全基準の検査方法の理解の浸透を図った。

③令和 7 年度の BAA 商品検査における環境負荷物質含有検査については、環境負荷物質使用状況調査・対策専門委員会で審議を行い、手に触れることが多い樹脂部品を中心に検査を実施した。

④プラスチック削減に関しては、自転車業界におけるプラスチック削減・資源循環の取り組みを促進するため、専門委員会において、プラスチック使用製品設計ガイドライン（案）を作成した。

(2) スポーツ BAA 制度への対応

①第 12 回 SBAA PLUS 新規資格取得講習（e-ラーニング講座）

4 月～6 月に開催し、新たに 116 名を認定した。

②第 16 回 SBAA PLUS ブラッシュアップ講習（e-ラーニング講座）

10 月～12 月に開催し、510 名を認定した。

また、新たに「都内の交通事故情勢と交通反則通告制度について」「いま求められている自転車健康ビジネス」「自転車販売店における賠償リスクについて」の 3 講座を制作した。

③SBAA PLUS 認定者専用公式サイトにおいて、SBAA EXPRESS のアーカイブの常時閲覧と認定者取材記事、店舗で視聴できる警視庁の広報動画を公開するとともに、認定者情報の登録促進を図った。

(3) 自転車安全基準

自転車安全基準専門委員会並びに電動アシスト自転車専門委員会を開催し、以下の審議を行った。

①自転車安全基準の改正

JIS 11 規格の改正に伴い、以下の自転車安全基準を改正した。

- ・ 改正対象：一般用自転車及び幼児用自転車安全基準、幼児 2 人同乗用自転車安全基準、電動アシスト自転車安全基準
- ・ 改正日：令和 8 年 4 月 1 日。改正日から 2 年間は改正内容の確認作業や新試験への対応、取扱説明書の変更等に時間を要することを考慮し、2 年間の猶予期間を設定した。

②スポーティー車への BAA マーク貼付促進について

6 月に開催された第 2 回自転車安全基準専門委員会において、委員より提案されたスポーティー車への BAA マーク貼付拡大策について検討を行った。道路交通法遵守等の課題も多いことから、今後、メーカー・販売店へのアンケート結果も踏まえ、以下の主な課題等について引き続き検討進めることとなった。

- ・ 対象車体は工場出荷時に前照灯が標準装備されていないスポーティー車。

- ・前照灯に「BAA 認証制度」を設け、ハンドル付近に「BAA 認証前照灯の装備が必要である旨のデカール」を貼付すること。
- ・前照灯の性能は自転車安全基準の要求事項を満たすこと。
- ・販売店での対応は、対象車体に取り付ける POP を用意し、BAA 認証前照灯の取り付けを促す。

(4) 生産物賠償責任保険の団体契約

製造物の欠陥によって生じる損害賠償に対処するため、生産物賠償責任保険の団体契約を継続実施し、会員企業の加入促進を図った。

(5) 使用済みバッテリー発火事故防止対策について

昨年 11 月に開催された第 1 回電動アシスト自転車専門委員会において、使用済みバッテリー発火事故防止対策について、以下の対応並びに検討を行った。

①緊急対策として通達を発出

- ・正会員向け通達：12 月 1 日発出
- ・特別賛助会員（SBAA PLUS）向け通達：12 月 4 日発出

②再発防止策の検討

専門委員会で課題を整理し、委員に加え各社のバッテリー担当者、JBRC 等の専門家を交えた「使用済みバッテリー発火事故防止対策検討会」を開催し、以下の主な課題や対応について整理を行い、引き続き検討を進めることとなった。

- ・JBRC 回収対象、回収不可バッテリーの容易な見分け方の確立として、回収対象かどうかを判別できるチェックリスト案の作成。
- ・JBRC 回収不可バッテリーの回収ルートについて、自協会会員各社への実態調査や自治体との連携の可能性を検討。
- ・金属製のペール缶に保管することを標準とするがペール缶の詳細なスペックや保管場所等に関するガイドラインの作成。

2. 広報活動

(1) 安全啓発広報

自転車のルール・マナーが社会的に問われている状況を踏まえ、イラストレーター「ぽぷりか」氏のビジュアルを活用した安全利用促進プロモーションを展開するとともに「クレヨンしんちゃん」を起用した BAA マーク自転車の安全性を訴求する広報と自転車の安全利用を促進する広報を展開した。

(2) BAAマーク関連広報

①広報業務

- ・主な広報施策として、子どもから大人まで幅広く親しまれている「クレヨンしんちゃん」を起用したアニメーション動画と静止画を通じて、「BAA マーク＝家族みんなが安心して乗れる自転車」というメッセージを発信した。
- 併せて、BAA マーク自転車の安全性を訴求する卓上 POP、のぼり、ポスター、リーフレット等店頭用販売促進ツールを制作し自転車販売店等に配付した。
- ・自転車販売店への来店促進及び BAA マーク貼付自転車の販売促進を目的としたキャンペーン施策を「クレヨンしんちゃん」とのコラボを行い、本年 2 月

より実施した。

②BAAアドバイザーについて

11月に行った認定者へのアンケート結果を踏まえ、認定者のスキルアップと消費者への更なる浸透等を目的に以下の施策を実施した。

- i) BAAアドバイザー認定者専用サイトから提供しているスキルアップ動画とBAAアドバイザーインタビュー（好事例共有）記事を追加した。
- ii) 第3回・第4回認定者688名に対し、認定継続の確認を行い525名に継続いただくこととなった。
- iii) 昨年度に誕生したイメージキャラクター「BAAニャドバイザー」を用いた各種ツールや認定者グッズを制作しイベント等で活用した。また、オフィシャルWebサイトの構築に着手した。
- iv) 認定者専用Webサイトに認定証発行機能を設定した。
- v) 第7回BAAアドバイザー検定について、昨年11月から受講申込を開始した。併せて、検定内容については自転車への青切符制度の導入等の新たな情報を追記する見直しを行い、12月よりeラーニングによる受講を開始した。
- vi) 本年4月より自転車に導入される青切符制度について、認定者の疑問を解決するリーフレットの制作に着手した。
- vii) BAAアドバイザー認定者のニーズや自転車店の現況を把握すべく、11月にアンケートを実施した。

③自転車通学指導セミナー等

- ・当会の自転車安全利用促進委員会では、全国の教育委員会との共催により、中学・高校の教職員を主な対象とした自転車通学指導セミナーを全国で実施した。本年度は、群馬、沖縄、愛媛、千葉、奈良、岡山、新潟、鹿児島、山形、青森、徳島、三重、埼玉の13県、桐生市（群馬）、西条市（愛媛）の2市で開催した。
- ・子供の保護者向け講習を小金井市（東京）、江東区（東京）で、高齢者向け講習を目黒区（東京）、伊勢市（三重）で開催した。
- ・自転車安全利用促進委員会が、道路交通法改正に関する情報や全国の中高生の自転車事故分析結果について、マスコミの取材対応やプレスリリース等を通じて積極的な情報発信を行った。（テレビ：日本テレビ・テレビ朝日等6件、新聞：朝日新聞・中日新聞等14件）
- ・BtoC イベント「東京ベイバイシクル」では、自転車安全利用促進委員会の委員が講師となり、ステージイベントで自転車の安全利用に関する情報発信を行った。

④補助輪外し教室

- i) 自転車デビュー応援ブック（案）の作成
自転車教室ワーキンググループにおいて、補助輪外しのノウハウをまとめた自転車デビュー応援ブック（案）を作成した。
- ii) 昨年12月13日東京・日比谷公園において、（公財）東京都公園協会が主催する幼児を対象にした「補助輪外し教室」に当会会員社とともに協力した。

(3) スポーツBAA関連広報

スポーツ用自転車の新規ユーザーの獲得を主な目的とする SBAA スペシャルサイト「ENJOY SPORTS BICYCLE」は、スポーツ用自転車への興味や関心を高めるべく「ビギナー向けロードバイクライフの始め方」「全国のフィールド情報」等、スポーツ用自転車ビギナー・ライト層向けのコンテンツの拡充を図った。

(4) 協会広報

①TBSラジオ「ミラクル・サイクル・ライフ」

スポンサー提供を通して、同番組にて自転車利用促進並びに安全啓発を発信するとともに、BAAマーク、SBAA PLUS、特別協賛するBtoCイベント、CYCLE AID JAPAN等、当会事業の情報発信をより積極的に行った。

②自協会ニュースとSBAA EXPRESSの発行

月刊で自協会ニュースを会員及び関係先に配付した。併せて月刊で SBAA EXPRESS を発行し SBAA PLUS 認定者(含特別賛助会員)等へ配付した。

3. オフロードバイク関連施策について

オフロードバイクの売り場の拡大を目的に、販売店スタッフを対象に商材としての魅力や楽しさを伝えるBtoBイベント「東京ベイ・オフロードバイク・ミーティング」の第2回を本年2月に葛西（東京）で開催した。

また、自治体等を対象としたパンプトラック購入助成金制度について、令和7年度の運用と令和8年度の告知を開始した。

4. 自治体との連携

5月に開催された自治体が主催する「第7回全国シクロサミット in 南さつま」に伊藤理事長、事務局が参加した。また、令和9年5月のVelo-city Ehimeの開催に向け、愛媛県と準備のための協議を行った。

5. 自転車活用推進法への対応

12月1日に自転車活用推進議員連盟の総会が開催され、当会から津山副理事長、廣瀬副理事長、蓮沼副理事長、会員、事務局が出席した。また、令和8年2月20日に開催された、Velo-city Ehime のキックオフセミナーに、伊藤理事長、事務局が出席した。

6. CYCLE AID JAPAN 2025(東日本復興支援サイクリング)

- ・郡山大会を9月27日に磐梯熱海を発着点として猪苗代湖畔を巡る100km・85kmの各コースに加え、サイクルバスを活用した50kmコースの計3コースで開催し、翌日の28日には、リステルスキーファンタジアを主会場として猪苗代大会を開催し、マウンテンバイク競技のほか、初心者層向けスクールや猪苗代湖一周ツーリング等を実施した。
- ・千葉大会は10月11日、木更津を発着点とする118kmコースにて開催した。

7. 自転車協会主催のイベント

(1) 都市型 BtoC イベント

一般消費者に対し自転車の魅力や楽しさを訴求する機会の創出を目的に当会が企画し特別協賛する BtoC イベント「東京ベイバイシクル 2025」を、昨年 10 月 4 日、5 日に有明（東京）にて開催し、会員各社より出展並びにご協力をいただいた。また、6 月 21 日 22 日に横浜赤レンガ倉庫にて開催された「ヨコハマ サイクルスタイル 2025」にも特別協賛した。令和 8 年度の「東京ベイバイシクル 2026」の開催に向けては、ワーキンググループにて参加者向けコンテンツ等の具体的な検討を進めた。

(2) 自転車のあるまちづくり地域交流会

官民における自転車活用施策の好事例の共有を目的に、第 4 回となる「自転車のあるまちづくり地域交流会～自転車活用推進地域交流会～」を 11 月 14 日に開催した。国土交通省、地方自治体、当会会員による講演を行い、国や自治体関係者を中心に 204 名の参加があった。

8. 電動アシスト自転車に係る型式認定の簡素化について

警察庁からのコメントを踏まえ、一昨年 9 月に警察庁に対して「フレームサイズ違いの電動アシスト自転車を同一型式として処理できないのであれば、別型式として申請する。但し、一定の条件を満たせば代表型式車両の試験結果の流用と試乗試験免除を要望することで簡略化を図る。」という新たな要望を行った。その後定期的に警察庁への状況確認を行っているが、警察庁からは電動アシスト自転車の型式制度全体の見直しを考えており、本件はその中の 1 つの項目として検討する予定で相応に時間を要するが必ず検討するとのこと等、回答を得た。

9. HS コード（統計品目）の変更について

昨年度開催した 2 回のワーキンググループでまとめた「シティー車」「スポーツ車・スポーティー車」「ミニサイクル」「子供車」「幼児車」「その他」からなる国内分類（8712.00 以下 3 桁部分の 6 分類）並びに分類例規の変更案が財務省に受理され、令和 7 年 10 月 31 日付で自転車に係る「HS コード（輸入統計品目表）」を改正し新たな品目表を適用する旨、告示（第二八三号「輸出統計品目表及び輸入統計品目表を定める等の件の一部を改正する件」）があり、令和 8 年 1 月 1 日より運用されることとなった。

10. 自転車工業の基礎調査事業

令和 6 年度の自転車工業の基礎調査事業については、会員の皆様に輸出入の動向及び生産動態調査表をご提出いただき報告書を作成し、令和 7 年 4 月に頒布した。令和 7 年度の調査結果については、本年 3 月に自転車工業の基礎調査専門委員会にて報告し、次年度調査方針と併せて検討を行った。

11. 国際化への対応事業

世界自転車工業連盟（WBIA）については、7月のドイツでのユーロバイク開催時の総会や令和8年3月25日の台北ショー開催時に行われたWBIAイベントに、当会から伊藤理事長、津山副理事長にご参加いただいた。

また中国自転車協会並びに台湾自転車協会については、随時事務局間で情報交換を行った。

[2] 自転車関連団体事業の協賛概要

自転車関連団体が実施した「Japan bike show（自転車産業振興協会）」「ツアー・オブ・ジャパン（日本自転車普及協会）」等に協賛し、自転車の安全・安心な利用と普及に努めた。

[3] 会議の要録

1. 総会

第89回定時総会 令和7年5月30日 於 自転車協会

【審議事項】

- (1) 令和6年度決算報告書承認の件
- (2) 理事並びに副理事長の選任の件

以上承認

臨時総会 令和8年3月19日 於 自転車協会

【審議事項】

- (1) 令和8年度事業計画並びに予算の件
- (2) 理事並びに副理事長の選任について

以上承認

2. 理事会

第234回理事会 令和7年5月30日 於 自転車協会

【審議事項】

- (1) 令和6年度決算報告書承認の件
- (2) 理事並びに副理事長の選任の件
- (3) 令和6年度事業報告書承認の件
- (4) 顧問選任の件
- (5) 正会員新規入会について
- (6) BAA マーク広報に関する件
- (7) スポーツ BAA マーク広報に関する件
- (8) 都市型 BtoC イベントについて
- (9) 自転車協会主催のセミナーについて
- (10) 子供自転車教室等について
- (11) オフロードバイク市場活性化について
- (12) CYCLE AID JAPAN 2025 について
- (13) 事務局長の選任について

以上承認

第 235 回理事会 令和 7 年 9 月 19 日 於 自転車協会

【審議事項】

- (1) 令和 7 年度第 1 四半期 事業報告の件
 - (2) 令和 7 年度第 1 四半期 会計報告の件
 - (3) 令和 7 年度正会員等会費の減免について
 - (4) 令和 7 年度 BAA マーク広報並びに安全啓発広報について
- 以上承認

第 236 回理事会 令和 8 年 3 月 19 日

【審議事項】

- (1) 令和 8 年度事業計画並びに予算の件
 - (2) 理事並びに副理事長の選任について
 - (3) 商品検査について
- 以上承認

3. 常任理事会

第 203 回常任理事会 令和 7 年 5 月 30 日 於 自転車協会
令和 6 年度決算報告について 他

第 204 回常任理事会 令和 7 年 7 月 18 日 於 自転車協会
令和 7 年度第 1 四半期事業並びに会計報告 他

第 205 回常任理事会 令和 7 年 9 月 19 日 於 自転車協会
令和 7 年度 BAA マーク広報並びに安全啓発広報について 他

第 206 回常任理事会 令和 7 年 12 月 12 日 於 自転車協会
令和 7 年度第 2 四半期事業並びに会計報告について 他

第 207 回常任理事会 令和 8 年 2 月 20 日 於 自転車協会
令和 7 年度第 3 四半期事業並びに会計報告について 他

第 208 回常任理事会 令和 8 年 3 月 19 日 於 自転車協会
理事・監事・役付理事の候補者について 他

4. 監事会

監事会 令和 7 年 5 月 16 日 於 自転車協会
令和 6 年度事業報告並びに会計報告

監事会 令和 7 年 9 月 5 日 於 自転車協会
令和 7 年度第 1 四半期事業報告並びに会計報告

監事会 令和 7 年 11 月 21 日 於 自転車協会
令和 7 年度第 2 四半期事業報告並びに会計報告

5. 総務委員会

第 27 回総務委員会 令和 8 年 2 月 13 日 於 自転車協会

- (1) 令和 8 年度事業計画について
- (2) 令和 8 年度予算について
- (3) 令和 8 年度会費算定について

6. 専門委員会等

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| (1) 自転車安全基準専門委員会 WEB 会議 | |
| 第 1 回自転車安全基準専門委員会 | 令和 7 年 5 月 23 日 |
| 第 2 回自転車安全基準専門委員会 | 令和 7 年 6 月 30 日 |
| 第 3 回自転車安全基準専門委員会 | 令和 7 年 12 月 19 日 |
| (2) 広報専門委員会 | |
| 第 1 回広報専門委員会 WEB 会議 | 令和 7 年 7 月 1 日 |
| 第 2 回広報専門委員会 於自転車協会 | 令和 7 年 9 月 12 日 |
| 第 3 回広報専門委員会 WEB 会議 | 令和 8 年 2 月 4 日 |
| (3) 自転車工業基礎調査専門委員会 於自転車協会 | |
| 第 1 回自転車工業基礎調査専門委員会 | 令和 8 年 3 月 10 日 |
| (4) 商品検査専門委員会 WEB 会議 | |
| 第 1 回商品検査専門委員会 | 令和 7 年 7 月 29 日 |
| 第 2 回商品検査専門委員会 | 令和 8 年 3 月 3 日 |
| (5) 電動アシスト自転車専門委員会 WEB 会議 | |
| 第 1 回電動アシスト自転車専門委員会 | 令和 7 年 11 月 21 日 |
| (6) オフロードバイク市場活性化専門委員会 WEB 会議 | |
| 第 1 回オフロードバイク市場活性化専門委員会 | 令和 8 年 2 月 13 日 |

[4] 会員異動状況 (令和 8 年 3 月 31 日現在)

正会員	100 社	
	令和 7 年 3 月 31 日	99 社
	令和 8 年 3 月 31 日	100 社
一般賛助会員	4 社	
特別賛助会員	198 社	

[5] その他

令和 6 年度事業報告書、決算報告書及び公益目的支出計画実施報告書を令和 7 年 6 月に内閣府に提出した。

以上